



COIMBO115

700 Watt Bass Amplification

取扱説明書



株式会社 サウンドハウス

〒286-0044 千葉県成田市不動ヶ岡1958

TEL:0476(22)9333 FAX:0476(22)9334

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は PEAVEY Combo シリーズ・ベースアンプをご購入頂きまして有り難うございます。Combo115 は業界の製品の中でも最良のベース・アンプです。Combo115 は完璧なまでのプロ仕様により、あらゆるクラブ・シーンやスタジオに対応するように設計されています。

機能

- 入力パッド・スイッチ
- プリ/ポストゲイン・コントロール
- ブライト・スイッチ
- コンツアー・スイッチ
- チューナー用センド
- センド/リターン・パッチ
- ロー・シェルピング・コントロール
- ハイ・シェルピング・コントロール
- 7バンド・グラフィック EQ
- EQ IN/OUT スイッチ
- 周波数可変式クロスオーバー
- プリアンプ出力
- パワーアンプ入力
- ステータス LED
- DDT™ スピーカー保護機能

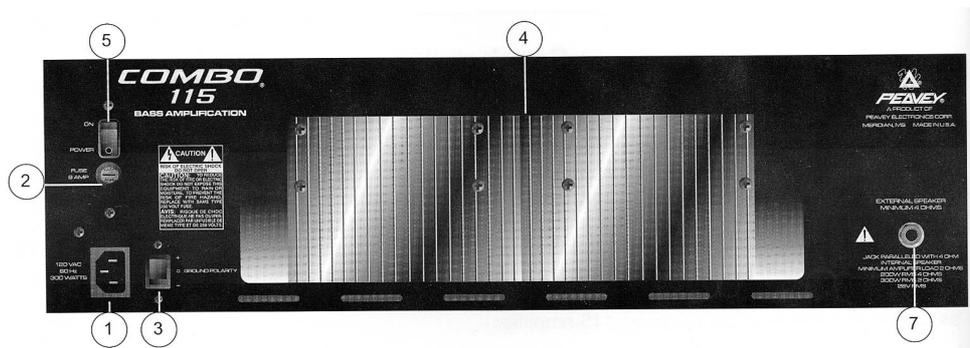
Combo115 の性能をフルに発揮させ、未永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取り扱い説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管して下さい。

ご使用前に

1. この取り扱い説明書にしたがって操作して下さい。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう充分ご注意下さい。
3. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用下さい。
5. 定格電圧 AC100V, 50/60Hz で御使用下さい。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様御注意下さい。
7. 信号の入出力端子に、許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。
8. 故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくは正規代理店に連絡してください。無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となることがあります。

各部の説明

リアパネル



1. AC 電源コード

この付属の IEC 電源コード用端子です。不適切な電圧が供給されると本体へ支障をきたす場合がありますのでご注意ください。

2. ヒューズ

ヒューズホルダー・カバーの中にヒューズがあります。ヒューズが飛んだ時は、機材を損傷から守り、保証対象として維持する為、必ず同型のヒューズをご使用下さい。アンプで繰り返しヒューズが飛んでしまう場合はお近くの販売店か正規代理店にご相談下さい。

警告：ヒューズ交換をする時は、電源からケーブルが抜いてあるかどうか確認して下さい。

3. グランド極性スイッチ

グランド・スイッチは 3 段階の切替スイッチです。大部分のアプリケーションでは中央または 0 の位置で操作します。スピーカーからノイズが聞こえて来る場合、いくつかの原因が考えられます。その場合グランド・スイッチを “ + (positive) ” または “ - (negative) ” にしてノイズを最小限になる箇所を探してみます。

4. ラインコード・ケース

メインケーブルを使用しない時に収納しておく為のスペースです。

5. 電源スイッチ

このスイッチを押すと電源がオンになります。

6. パワー/ステータス LED

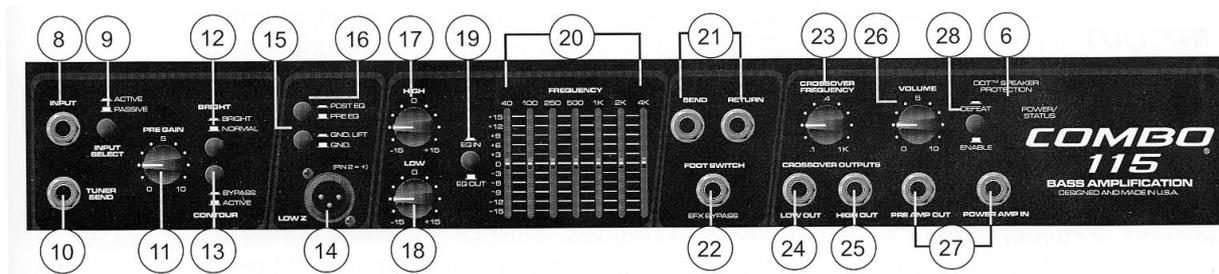
電源が ON の時に LED は緑に点灯し、DDT コンプレッション機能がアクティブの時に（スイッチが押された状態）赤く点灯します。

注意: DDT™ スピーカー保護システム・スイッチが DEFEAT に切替えてある場合はステータス LED は赤に点灯します。

7. 外部スピーカー端子

アンプを外部スピーカーに接続する場合はスピーカーのインピーダンスが 4 Ω 以下にならないように気をつけて下さい。内蔵された 4 Ω スピーカーと並列して外部スピーカー端子を接続し、2 Ω の負荷で最大出力（300 ワット）を作り出すことができます。

フロントパネル



8. 入力端子 (1/4 モノラル)
様々なベース・ピックアップから送られる信号を入力できます。
9. 入力選択スイッチ
ACTIVE ポジションにするとアクティブ・ピックアップ搭載のベースギターの入力信号が 10dB 下がります。入力時にオーバードライブする可能性のある出力が極度に高い楽器を使用する時に使います。バッテリーを必要としないパッシブ・ピックアップの場合には、このスイッチを PASSIVE にして下さい。
10. チューナー用センド
外部チューニング機材用の 1/4 インチ・フォン端子で、ベースギターの信号がチューナーへ送信されます。チューニングする際に音をミュートしたい場合はプリゲインで音量を下げてください。
11. プリゲイン
プリアンプの入力ゲインをコントロールします。
12. ブライト・スイッチ
高域を 8dB ブーストする為のプリセット・スイッチです。動作させるにはスイッチを押します (IN の状態にします)。
13. コンツアー・スイッチ
このスイッチを押し BYPASS の位置にするとプリセットされた EQ カーブが無効になります。ACTIVE にするとコンツアー EQ が作動し、高域が強調され音の輪郭がより明確になります。

ラインアウト

14. ローインピーダンス・バランス出力
外部機材用にバランス低インピーダンス音源を供給します。このメイン機能はミキサーのローインピーダンス入力へダイレクト・バランス信号を供給します。これにより外部ダイレクトボックスが不要になります。
15. グランド・リフト・スイッチ
16. ポスト EQ/プリ EQ
このスイッチでローインピーダンス・バランス出力信号のポジションを切り替えます。ポスト EQ に切り替えることで EQ 処理された信号をローインピーダンス・バランス出力から送信します。
17. HIGH
高周波帯のブーストやカットを行うアクティブトーン・コントロール (シェルピング・タイプ、 $\pm 15\text{dB}$) です。

18. LOW

低周波帯のブーストやカットを行うアクティブトーン・コントロール(シェルビング・タイプ、 $\pm 15\text{dB}$)です。

19. グラフィック IN/OUT スイッチ

このスイッチを IN の状態にすると楽器の信号を 7 バンド EQ に送ります。また、OUT の状態にすると信号経路からグラフィック EQ がはずされます。

20. グラフィック EQ

7 バンド / 1 オクターブのグラフィック EQ を使って、それぞれのバンド帯において 15dB のブースト又は、カットを行うことができます。

EFX LOOP

21. パッチセンド / リターン

ロー・レベル (0.3V RMS) のプリ EQ エフェクト・パッチです。エフェクター機材をパッチするには、まずセンド端子をエフェクター機材の入力に接続します。次にエフェクター機材の出力をリターン端子に接続します。接続には常に高品質のシールド・ケーブルを使用して下さい。

22. フットスイッチ端子

フットスイッチでフェクトループのオン・オフ切替ができます。メーカー推奨モデルは PEAVEY 社製フットスイッチ #0051000 です。

クロスオーバー

23. クロスオーバー

フリーケンシーのつまみを使って 100Hz ~ 1kHz 間でクロスオーバーの周波数を変更し好みのクロスオーバー周波数にセットします。Combo115 をバイアンプ用にセットアップする場合には別途、アンプおよびスピーカーを用意する必要があります。

バイアンプ例：クロスオーバーの HIGH 出力を Combo115 のパワーアンプ入力に接続します。次にクロスオーバーの LOW 出力を外付のパワーアンプの入力に接続します。外付のパワーアンプのスピーカー出力を別のスピーカーに接続します。メーカーから推奨のクロスオーバー・ポイントを念頭において、クロスオーバーの周波数を好みにあわせて設定します。

24. ロー出力

このモノラル 1/4 インチ・フォン端子で内蔵クロスオーバーで処理された低域信号を出力します。

25. ハイ出力

このモノラル 1/4 インチ・フォン端子で内蔵クロスオーバーで処理された低域信号を出力します。

マスター

26. ボリューム

アンプのボリュームレベルを調節します。お好みのトーンの設定が決定してからこのつまみで最終的なボリュームレベルを調節して下さい。

27. プリアンプ出力 / パワーアンプ入力

エフェクター機材のインライン・パッチング用の端子です。エフェクター機材をパッチするに

は、プリアンプ出力端子をエフェクター機材の入力に接続します。次にエフェクター機材の出力をパワーアンプ入力端子に接続します。プリアンプ出力はアンプ信号をミキサーやテープレコーダー等にも使用します。プリアンプ出力端子をミキサーやテープレコーダー等の入力に接続して下さい。この動作を行ってもアンプ操作に影響はありません。接続を行う時は常に高品質のシールド・ケーブルを使用して下さい。

28. DDT™ スピーカー保護システム・スイッチ

Combo115 には特許 DDT (Distortion Detection Technique) が搭載されています。これはパワーアンプのクリッピングの可能性を効果的に取り除くコンプレッション回路です。アンプは DDT 表示が常時 “点灯” ではなく “点滅” (時折り点灯) するように操作しなくてはなりません。常に表示がオンになっている場合は、パワーアンプがかなり激しく使用されていることを表します。このような状況を避けるには、DDT 表示が点滅するレベルまでゲインを下げるか、または EQ 設定を下げます。DDT のスピーカー保護システムを解除するにはこのスイッチを DEFEAT (“ IN ”) にします。

注意：DDT スピーカー保護システムの活用を強くオススメします。

電源が ON の時に LED は緑に点灯し、DDT がアクティブの時に (スイッチが押された状態) 赤く点灯します。



保証書

保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

お買い上げ日より1年間有効

■保証規定

保証期間内（ご購入より1年間）において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書に基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。

但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取り扱い方法が不相当（例：過大入力によるウーハー焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. 製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことにより故障及び損傷がおきたとみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト各種パーツ等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. お客様自身で行った調整や修理作業が原因で生じた破損事故や故障
11. その他、メーカーの判断により保証外とみなされた場合

●運送費用

通常、修理品の持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、佐川急便に限り着払いを受け付けます（下記RA番号が必要です）。沖縄などの離島の場合は、着払いでの受付は行っておりません。送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

●RA番号（返品承認番号）

初期不良または保証内の修理における着払いでの運送については、サポート担当より通知されるRA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状シールに明記してください。RA番号が無いものについては、佐川急便以外の運送会社での着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる損害（周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損害）に関してサウンドハウスは一切の責任を負いません。